



イトマン
奈良ブロック新聞
2023年6月



子どもの成長には
節目が！！！！



何か1つのことを行っている最中、急に集中力が切れる時ってありますよね？子供は15～20分くらいで集中力がきれるっていうのを耳にしたことがあります。集中力が長く続けば、多くのものが習得できるのでできれば長い集中力があつたら様々な面で有利になっていくように感じます。0歳からの脳がどのような段階を経て成長・発達していくか調査したのでご紹介いたします。「良い脳」を育てるには、3歳まで、7歳まで、10歳までの3つの段階で子育てのアプローチを変えていかなくてはなりません。

子どもの脳が大人の脳として完成するまでの発達段階を年齢に置きかえてみます。

◎0～3歳⇒脳神経細胞がどんどん増えていく時期◎

=脳がどんどん大きくなっていく

◎4～7歳⇒脳神経細胞の「間引き現象」が起こる時期◎

= unnecessary cells are pruned and refreshed.

◎8～10歳⇒「情報伝達回路の機能」が発達していく時期◎

=大人の脳に近づく「情報伝達回路」を作る作業が終わったところで、子どもの脳はようやく完成する

つまり・・・

4～7歳の時に、「気持ちのこもった対話」をすることが、頭のいい子・集中力の高い子になる素質が育っていくのです。

気持ちのこもった会話とは
どんなことをすればよいのか…



脳の「機能」「本能」「心」を鍛えることが
脳のレベルアップ！+αで大人も能力アップに！
お子様と是非一緒にやってみてください。



①何にでも関心・興味を持ち好きになること

情報元である学校の先生やスポーツを教えてくれる指導者のことも好きになることで学びの吸収が良くなります。

②話は感動しながら聞くと良い

人から聞く話を「わ～ホント!?!」「すごいことだね!」と感情を揺らしながら聞くと理解力が高まり脳の力を発揮!

③何事にも全力で取り組む素直な性格を育てる

メリット、デメリットを先に考えるのではなく、素直に何事も必死に取り組み手を抜かない行動が脳にとっても良い!

④「やめたい」「できない」「無理」といった否定的な言葉を使わない

目標をはっきり脳に出してやるのが脳の力を引き出すポイント!

⑤「こんなところかな」と途中で置いておかない

中途半端な終わり方は思考力を弱めます。最後まであきらめず「やり遂げるんだ!」という強い気持ちが重要!

⑥目標達成のためにはコツコツより一気にかが正解

育脳的には目標を定めたら一気にかが実行するのが良い!!

⑦繰り返しの復習が重要

育脳では効率の良さを求めるより、完璧に頭に入れるまでくり返し復習をすることが重要!

⑧自分の失敗や欠点を素直に認める

脳は具体的な達成目標に向かって機能を発揮するので、「これからどうするか」をはっきりさせることが大切です。

⑨人を尊敬できる心を育てる

人を尊敬するという事は、相手を大切にしたり、相手の気持ちを考える事です。

